

## 学習内容報告書

学校名	小浜市立内外海小学校
授業者	野路 拓史

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

内外海の魅力を再発見

#### 1-2. 学年

5年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間・国語・社会

#### 1-4. 単元の概要

身近にいるから気づいていない地域の魅力を、みんなで体験しながら価値付けることで再発見（再認識）して、素晴らしい地域の魅力を発信したり、継承したりする心情や実践力を育む。

地域の伝承料理である「なれずし」づくりと、内外海地区で盛んに行われていた「鯖の巾着網漁」、「鯖街道の歴史」などを学ぶことで、これまでと違った側面から地域の魅力に気づき、地域の活性化や持続可能な地域社会の担い手となることを目指す。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

総合的な学習の時間を中心にこれまでもふるさと学習を進めてきた。4年時は、地域の産業や観光資源などに目を向けて地域の魅力を探ってきた。5年生では、歴史や文化の側面から地域の魅力を見つめ直していき、地域の「ひと・もの・こと」の素晴らしさを実感を伴って理解することをねらっている。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

問題発見・解決能力

多面的・総合的に考える力

自然環境や資源の有限性の中で持続可能な社会をつくる資質・能力

1-7. 単元の展開（全35時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
5	学習課題と学習計画の設定  雲龍丸乗船体験 定置網漁体験  体験のまとめ	若狭高校海洋学科 宇久 浦谷定置網の方々
7	鯖街道について調べる。 歴史や京都とのつながりについて知る。 班で調べたことをまとめ、発表する。	鯖街道のパンフレット  百里会の方
6	鯖街道踏破第1弾 内外海小学校～鯖街道ミュージアム～若狭姫神社～彦神社～鵜の瀬～上根来助太郎～登山口	鯖街道ミュージアム 語り部の方
4	鯖街道踏破体験をしてのまとめ 体験をしての疑問、第二弾にむけての準備	
6	鯖のへしこ・なれずしについて調べる。 班で課題を考え、調べ活動 スライドにまとめる 発表して学級で共有する	たがらす我が袖クラブホームページ
7	なれずしづくり体験①② 鯖を捌く、塩漬けにする 糠に漬ける  なれずしづくり体験を行っての振り返り	うちとみKITCHEN使用 森下佐彦さん、山下善嗣さん

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 35 時間中の 13~18 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

豊かな自然や文化にふれ、鯖街道の歴史を学び、鯖街道をたどることで郷土愛をはぐくむ。  
 苦しいことにも立ち向かうことで、達成感や自己有用感をもち、たくましく未来を生き抜く力を養う。  
 仲間とともに励まし合いながら歩き、仲間との絆を強める。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
内外海小学校出発  鯖街道ミュージアムで鯖街道の概要について知る。	休憩所などへの連絡・調整 安全に活動できるように指導する。 
若狭姫神社  若狭彦神社	 
神宮寺 歴史ある神社や寺が多く存在することがわかった。	
鵜の瀬 昼食 道中にお堂や地蔵が多くあり、昔から人々が通ってきたことを実感することができた。	
上根来「助太郎」	
鯖街道登山口	
バスにて帰校 移動時間から、昔の人の苦労や今の生活の便利さを実感することができた。	・体験を通して、内外海地区と鯖街道の関係やその歴史、価値について気づくことができたか。（ふり返り・感想）

### 3. 今回の活動の自己評価

実施日は、あいにくの天候で、カッパを着て歩く時間が長くなったが、「困難なことにチャレンジする」「昔の人の苦勞を知る」という目的を達成することができた。途中でカッパを着たり、雨宿りをしたりしたが、鯖街道ミュージアムや、彦姫神社などのポイントには時間どおり着くことができ、子どもたちは頑張って歩くことができた。協力し合いながら歩くことで、学級の絆を深めることができた。

若狭姫神社、彦神社、神宮寺と、鯖街道沿いの歴史や文化財についてもふれることができた。

### 4. 今後の課題

- ・鯖街道踏破の第2弾にむけて、ルートや山の歩き方、歴史などの事前学習を行う。
- ・小浜から京都への鯖の道というだけでなく、逆に京都から文化が通ってきた道ということを関連づけさせ小浜市の神社や仏像などの文化遺産についても学びを深めていく。
- ・学習を継続していくためには、外部協力者や費用が必要となり、保護者の理解と協力も必要である。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点